

発達科学部平成 18 年度年次計画報告書

この資料は、国立大学法人評価委員会が決定した項目について、発達科学部として定めた平成 18 年度年次計画に関して、その実施状況をまとめ、自己評価したものである。

なお、「自己評価」欄に記載している評価記号は、国立大学評価委員会が定めた以下の基準による。

- 「年度計画を上回って実施している」
- 「年度計画を順調に実施している」
- 「年度計画を十分に実施できていない」
- 「年度計画を実施していない」

発達科学部平成18年度年次計画報告書

平成18年度年次計画	自己評価	自己評価判断理由(実施状況等)	根拠資料
大学の教育研究等の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置			
1 教育に関する目標を達成するための措置			
・中期目標期間中に達成を目指す具体的な計画を公表する。(H16-)(発達科学部)		各学科・コースの教育理念・目標・受け入れ方針を記載したパンフレットを発行した。	・パンフレット「神戸大学発達科学部2007」 ・「学生便覧2006」
・新たな入試制度がアドミッション・ポリシーに適合的であるかどうか、新たな履修コースと学生定員との適合状況の検討。(H18-20)(発達科学部)		入試委員会で検討中。	・入試委員会議事録
・平成18年度からの全学共通教育体制の見直しにあわせ、外国語教育のあり方について検討を行う。(H17-)(発達科学部)		教務委員会において外国語教育のあり方について検討中。	・教務委員会議事録
・1年次生の必修科目「発達科学演習」、「発達科学への招待」の内容を、「導入教育」「転換教育」の質をもったものに一層充実させるための検討と実施(H16-)(発達科学部)		「発達科学への招待」についてのFD講演会を実施し、「発達科学への招待」運営委員長より2年間の授業内容の紹介と学生授業評価アンケートの結果についての報告を行った。昨年度に引き続き「発達科学演習」についての学生アンケートと教員アンケートを実施した。学生からの評価が高いため、来年度も今年度と同じ実施方法で行う。	・FD実施資料 ・教務委員会資料 ・関係HP
・平成18年度以降、1年次において高校教育からの移行を円滑にし、かつ自ら学ぶ態度を養うために少人数教育の拡充を図る(H17-)(発達科学部)		発達科学演習の充実を図りながら、来年度に発達科学演習の見直しを行う中で少人数教育の拡充について検討を行うこととする。	・教務委員会資料
・入学生及び各学年におけるガイダンスの在り方等について検討し、学生が授業の選択を自主的かつ適切に行うことができるように工夫する。(H16-)(発達科学部)		本年度は、新入生ガイダンスに加え、教務事項ガイダンスを実施した。	・教務委員会、学生委員会議事録 ・ガイダンス実施要項
・シラバスの改善・充実、Webサイトへの掲載(H16-)(発達科学部)		授業概要のシラバスは旧学科分はほぼ掲載されているが、新学科分については7月の調査では2割弱の授業科目について未掲載であった。このため各教員に掲載の依頼をした結果、後期開講科目について98%の授業科目のシラバスが掲載された。授業情報のWebサイトでの掲示については、教務委員会で検討した結果、授業情報は受講生に対する情報提供であることから、教務情報システムでシラバスの提供ができるまでは、授業内で担当教員が提示することとした。	・ホームページ ・教務委員会議事録
・新たなカリキュラム体系の教務委員会による点検(H18-)(発達科学部)		新カリキュラムにおけるキャップ制に関し、資格免許の科目等の取り扱いで不明確な部分があり、検討の上で登録の上限を定めた。	・教務委員会議事録
・インターンシップの実習内容の充実、教育効果の測定のための検討作業(H16-)(発達科学部)		インターンシップ委員会のもとで、複数回のガイダンスを実施するとともに、キャリア・サポートセンターと連携し、事前指導等を含めインターンシップを実施した。なお、平成19年3月に「平成18年度発達科学部インターンシップ報告書」を発行した。	・平成18年度発達科学部インターンシップ報告書
・社会人と留学生に対するカリキュラムの整備を進める。(H16-)(発達科学部)		社会人入試専門委員会において社会人入試制度のあり方を改善した。社会人入試制度の改革と連動して時間割を検討中。	・教務委員会議事録 ・入試委員会議事録
・非常勤講師体制の見直し。コマ単位での非常勤講師の活用の方策の検討(H16-)(発達科学部)		引き続き非常勤講師体制の見直しを行うとともに、ゲストスピーカー制を継続して実施している。(平成18年度前期28名、後期26名)	・教授会及び教務委員会議事録
・鶴甲2団地の施設長期計画書に基づく施設計画の年度ごとの実現(H18-)(発達科学部)		既に本部に要求している。	・概算要求資料
・学科再編に伴う人間表現学科の教室的部分的改修、人間行動学科の体育館の改修をはじめとする教室及び設備の改善(H16-)(発達科学部)		B棟106,108,202,212教室の改修(壁、天井、建具等の塗装及び床シート貼)及びプールの改修を実施し、壁面及び建具等の営繕関係費の要求を行っている。	・写真
・学習指導方法として、学生と教官との双方向的授業の実現に向けての検討と改善(H16-)(発達科学部)		「発達科学演習」の実施方法の改善によって、教員と学生とのコミュニケーションが一層図れるようにしている。双方向授業の実施状況について調査を実施し、調査結果をまとめた上で、双方向授業を実現するために行っている工夫・努力などの事例を学部構成員に紹介し、検討中である。	
・年1回のFD研修会の実施(H16-)(発達科学部)		平成18年9月に「発達科学への招待」に関するFDを開催した。	・教授会議事録 ・FD実施資料
・教員相互の授業方法の改善策についての相互交流を図る。(H16-)(発達科学部)		平成18年9月「発達科学への招待」に関するFDを実施して教員の相互交流を図った。	・教授会議事録 ・FD実施資料
・学生による授業評価の実施と自己評価委員会「教育評価部会」の立ち上げと検討(H16-)(発達科学部)		学生による授業評価は、平成17年度に実施した結果を担当教員に還元した。平成18年度も同様の調査を実施した。学生による授業評価を現在分析中。自己評価委員会「教育評価部会」が、今後の教育評価のあり方を検討中。「発達科学演習」の授業評価を行い、結果を分析中である。	・アンケート調査用紙 ・自己評価委員会議事録
・教育活動に関する自己点検・評価活動を実施(H18)(発達科学部)		自己評価委員会にて検討中	・中期計画委員会資料
・全学的に教育活動に関する評価基準を策定し、教育の質の改善を図る。(H17-)(発達科学部)		教育活動の評価項目、基準を検討中。	・中期計画委員会資料
・オフィスアワー制度あるいはメールを利用した学生と教官との連絡体制の整備のあり方を検討し、全教員への徹底を図る。(H16-)(発達科学部)		学生便覧に、全教員のメールアドレスを記載した。また、オフィスアワー制度を利用し、学生と教員との連絡体制の整備を行った。	・中期計画委員会資料 ・学生便覧
・編入学生に対する相談体制を検討する。(H16-)(発達科学部)		編入学生に対する大学院生TAによるアドバイザー制度を検討中。また、編入学生受け入れコースに対する相談体制の現状を調査中。	・中期計画委員会資料
・就職支援等に関する具体的方策(H16-)(発達科学部)		キャリアサポートセンターにおいて、各種セミナー及び講座の開催、運営などを行った。セミナーは、企業就職向けセミナー4回、理系セミナー1回、低学年セミナー4回、教員採用対策セミナー12回の計21回であった。少人数対応の講座は、9月より「自己分析」「エントリーシート対策」「面接対策」として定期的に開講した。相談業務も定期的に行った。また、電子媒体としてHPの公開、センターメールマガジンの継続的発行をした。なお、本センターの利用者は、4月から1月までに442名、そのうち相談者は185名であった。	・ホームページ ・各種資料 ・キャリア・サポートセンター規程
・キャンパス環境の整備拡充に関する具体的方策(H16-)(発達科学部)		安全衛生委員会による巡視を行っている。また、職員による安全設備の充実、また、その使用訓練(消防訓練)を実施した。	・安全衛生委員会議事録 ・同委員会によるファカルティ通信
・学生のアメニティー環境整備に向けての検討、実施(H17-)(発達科学部)		食堂内の購買部を食堂西側に移設し、食堂ホールを拡張することによって、狭隘を改善し、床シート張替、入口を自動ドアにするなど、食堂整備を行った。本館トイレ(2階)を改修し、残りの本館トイレは平成19年度改修の運びとなった。	・写真

発達科学部平成18年度年次計画報告書

平成18年度年次計画	自己評価	自己評価判断理由(実施状況等)	根拠資料
・社会人入学生が学びやすい時間割りの検討を行う。(H16-)(発達科学部)		社会人入試専門委員会において社会人入試制度のあり方を改善した。また、社会人入試制度の改革と連動して時間割の検討中。	・教務委員会議事録
・教育問題、学生生活上の問題等に関し保護者との連携の方策を検討する(H16-)(発達科学部)		育友会との懇談会を毎年度実施。	・実施要項
2 研究に関する目標を達成するための措置			
・研究活動に関する自己点検・評価活動を実施(H18)(発達科学部)		自己評価委員会のもとでデータを収集した。	・自己評価委員会議事録
・研究推進委員会によるプロジェクト研究の設定、シンポジウムの開催を推進する。(H16-)(発達科学部)		プロジェクト研究経費の制度を整備し、H18年度に申請があったもののうち3件を採択した。また、発達科学シンポジウムを2回開催した。	・シンポジウム配付資料
・学部予算編成において、研究推進プロジェクト経費の設定を一層具体化する。(H16-H18)(発達科学部)		プロジェクト研究経費(発達科学研究推進特別経費)ならびにシンポジウム開催経費、研究推進特別経費を計950万円設定した。	・教授会資料 ・募集要項
・採用人事を講座単位としてではなく、学部の戦略的観点から実施する体制を整備する。(H16-H18)(発達科学部)		採用人事を、講座単位から人事委員会による学部単位とする体制にしている。	・人事委員会規則
・神戸大学を取り巻く一般社会との連携を強化するとともに、それぞれの学問分野の特質を生かし、国際機関、地方自治体及び関連機関、文化・芸術関連機関、TLO(技術移転機関)、NPO(非営利組織)をはじめとする地域の諸組織等との多彩な連携を構築し、研究成果公表の場(フォーラム開催等)を設け、それによって研究成果を広くかつ有効に還元する。(H16-)(発達科学部)		発達支援インスティテュート・ヒューマンコミュニティ創成研究センターにおいて、自治体、学校、NPOとの連携を深め、学外研究員を委嘱して、社会との連携強化を図っている。また、「社会貢献レポート」をweb上で公開するとともに、旧灘区役所跡地に平成17年度に開設した「のびやかスペースあーち」において、地域と密着した活動を展開している。	・ホームページ ・各種資料
・発達科学部国際シンポジウム又は総合人間科学研究科国際シンポジウムを、継続的研究会の上に開催していく。(H16-H18)(発達科学部)		大学院再編の関係で検討を中断している。	・開催要項など
3 その他の目標を達成するための措置			
・各教官の社会貢献活動に関する報告書を発行して、社会との連携の一層の強化を図る。(H16-)(発達科学部)		社会貢献レポートは50名の教員が執筆し、ホームページ上で公開中。	・ホームページ
・施設や設備をはじめ大学が保有する資源を活用し、地域社会や産業界が行う調査研究への支援や共同活動を一層充実する(H17-)(発達科学部)		「発達支援インスティテュート」へと発展的に転換させた。また、同ヒューマンコミュニティ創成研究センターにおいて、自治体、学校、NPOとの連携を深め、学外研究員を委嘱して、社会との連携強化を図っている。また、旧灘区役所跡地に平成17年度に開設した「のびやかスペースあーち」において、地域と密着した活動を展開している。	・神戸大学大学院総合人間科学研究科附属発達支援インスティテュート ヒューマン・コミュニティ創成研究センターのびやかスペースあーち運用要項 ・あーち通信
・ヒューマン・コミュニティ創成研究センターにおける各部門の活動を通じて、自治体、企業、学校、NGO、NPOなどの各種組織との連携の上にたった各種活動を展開する。(H17-)(発達科学部)		ヒューマンコミュニティ創成研究センターにおいて、自治体、学校、NPOとの連携を深め、学外研究員を委嘱して、社会との連携強化を図っている。また、旧灘区役所跡地に平成17年度に開設した「のびやかスペースあーち」において、地域と密着した活動を展開している。	・神戸大学大学院総合人間科学研究科附属発達支援インスティテュート ヒューマン・コミュニティ創成研究センターのびやかスペースあーち運用要項 ・あーち通信 ・ホームページ
・オープンキャンパスを充実させ、高大連携を一層発展させる。(H16-)(発達科学部)		平成18年度は、学部説明会3回、出張大学説明会10校、高校生に対する公開授業4校、模擬授業5校、AO入試説明訪問高校56校、その他高大連携として高校から要請があれば積極的に応えている。	
・教員寄付金によって運営している「国際交流関係運営資金」の一層の積極的活用を図り、研究者の相互交流、学生の海外への派遣を推進する。(H16-)(発達科学部)		国際交流関係運営資金の活用は、昨年度13件、今年度現在5件。研究者の相互交流及び学生への海外派遣が、推進されると見込まれる。	・「2007年度発達科学部年次報告書」(現在編集作業中)
・国際交流委員会学術交流専門部会による学術交流協定の締結の具体化作業を進める。(H16-)(発達科学部)		EDITH COWAN大学(オーストラリア)及び公州教育大学(韓国)、浙江大学(中国)と学術交流協定を締結するとともに、ロンドン大学(イギリス)、オロンゴン大学(オーストラリア)ならびにアーカンソー州立大学リトルロック校(アメリカ)との協定締結に向けての作業が進行中である。	・実施細則
・単位互換を前提とした学術交流協定の拡充を図る(H17-)(発達科学部)		単位互換を前提とした学術交流協定について検討中である。	
3 附属学校に関する目標を達成するための措置			
・附属明石校においては、学部教員と共同して、幼・小・中の12年一貫教育を基盤にした「カリキュラム開発研究センター」等での「キャリア発達支援を含む社会を創造する子どもの育成を目指したカリキュラム開発」を進める。(H16-)		・学部・附属コラボレーション委員との連携を保ちながら研究を進めた。	・平成14年度研究開発実施資料 ・研究紀要34(中学校) ・研究紀要40(小学校) ・研究紀要34(幼稚園) ・研究紀要2(カリキュラム開発研究センター)
・附属明石校園「カリキュラム開発研究センター」を中心に、生涯学習社会における学校教育専門家の育成システムを検討する。(H16-)		・18年度カリキュラム開発研究センター事業計画を作成し、「キャリア発達支援」の観点から、幼・小・中に共通する「社会を創造する知性・人間性を身につけた子どもの育成」を目指したカリキュラム開発を、学部・大学院と連携して行った。 ・明石中学校は平成18年10月に研究協議会を実施し、広く全国に研究成果を発表した。	・平成14年度研究開発実施資料 ・研究紀要34(中学校) ・研究紀要40(小学校) ・研究紀要34(幼稚園) ・研究紀要2(カリキュラム開発研究センター)
・附属住吉校においては、学部教員と共同して「国際教育センター」を中心とした「国際教育推進プログラム」を研究・開発し、小・中9年一貫の教育体制のなかで試行するとともに、日本語カリキュラムに関しては、「平成16年度・平成17年度における補習授業校のための指導案(日本語力判断基準表及び診断カード)の研究作成に係る事業」を文部科学省から委託を受け進めており、その成果を踏まえて日本語カリキュラムの作成にかかる。(H16-)		・英語、生活科、総合学習などを通じ、「国際社会」が意識できる学習を組み込んでいる。また、改組した国際教育センターを中核に「小中一貫教育で実現する国際社会に生きる資質・能力の育成」の実現に向け、小中学校合同研究を進めるよう検討した。 ・小・中学校合同10のプロジェクトを推進した。	【附属住吉校】 ・国際教育センターカリキュラム ・プロジェクト研究企画書 ・英語プロジェクト基礎編 ・日本語カリキュラムプロジェクト基礎編 ・外国人児童生徒募集
・附属住吉校「国際教育センター」を中心に日本語、英語カリキュラムの開発の年次計画を検討する。(H16-)		・平成16年度、17年度に文部科学省から委嘱を受けた「補習授業校のための指導案の研究作成に係る事業」をベースに研究を継続した。 ・17年度に作成した日本語力判断基準表や診断テストをホームページ上で公開した。 ・小中学校の英語プロジェクトとして、確かな英語力を養う「小中一貫英語カリキュラム」を作成した。	【附属住吉校】 ・補習授業のための指導案の研究作成にかかる事業報告書 ・日本語初期指導カリキュラム ・小中一貫英語カリキュラム ・国際教育センターホームページ
・附属養護学校においては、近年の特別支援教育の要請に応えて、障害児・者の生涯にわたる発達を地域社会との交流をより充実させて研究を実施する。具体的には親子教室の実施、特別支援教育コーディネーターの配置と教育相談及び地域巡回活動等の活動を実施する。特別支援教育関連の研究成果を公開し、障害児教育研究協議会を開催する。(H16-)		・教育実践カルテの作成、障害児親子教室の実施、特別支援教育コーディネーターの配置と教育相談及び地域巡回活動等の活動を計画どおり進めた。 ・神戸大学全学部学生を対象とした介護等体験実習、発達科学部学生の障害児臨床実習を実施した。	・小・中、高教育実践カルテ綴り・3月総括教員会議記録・介護等体験実施表・障害児臨床実習実施要項

発達科学部平成18年度年次計画報告書

平成18年度年次計画	自己評価	自己評価判断理由(実施状況等)	根拠資料
<p>・以上の計画を達成するために、学部・附属交流会議、学部・附属コラボレーション委員を通じて連携を強めていく。(H16-)</p>		<p>【附属住吉校】 ・学部附属交流会議を隔月で開催し情報交換をすると共に、学部・附属コラボレーション委員と連携し、小中学校共同で10のプロジェクト研究を推進した。 ・平成18年度科学研究費補助金(奨励研究)が4件採択された。 【附属明石校園】 ・学部・附属コラボレーション委員と連携し、附属校園とのプロジェクト研究を設定して推進した。 ・平成18年度科学研究費補助金(奨励研究)が9件採択された(うち1件は研究者転出のため辞退)。 ・小・中においては、海事科学部との連携研究事業をそれぞれ立ち上げ、中学校においては、科学研究費補助金を使いフローティングスクールを実施、小学校においても同様な事業を実施した。 ・平成19年度科学研究費補助金(奨励研究)は25件申請した。 【附属養護学校】 ・学部・附属コラボレーション委員と連携し、発達障害児の事例研究を進めたり、11月22日に兵庫県知的障害養護学校教育研究協議会小学部会を開催した。</p>	<p>【附属住吉校】 ・奨励研究計画調書一覧 ・学会発表一覧 ・プロジェクト研究成果 【附属明石校園】 ・平成18年度科学研究費補助金(奨励研究)交付申請書 ・平成19年度科学研究費補助金(奨励研究)計画調書 【附属養護学校】 ・兵庫県知的障害養護学校教育研究協議会小学部会実施要項</p>
<p>・生涯学習社会における学校教育の在り方について、学部・附属コラボレーション委員との連携促進を強化して、学部教員と附属学校教員の共同研究を促進する。(H17-)</p>		<p>【附属住吉校】 ・小中合同プロジェクト研究の成果として「小中一貫教育で実現する国際社会に生きる資質・能力の育成」をテーマに研究協議会を6月9日に開催した。 【附属明石校園】 ・開発指定研究の成果の一つである「学びの一覧表」をもとに、各校種で実践を通しながら、12ヶ年一貫型のカリキュラム作成を行っている。特に、学部・附属コラボレーション委員と連携した研究に継続して取り組んだ。 ・中学校では10月20日に研究協議会を実施した。 ・小学校では平成19年1月25日、26日に研究発表会を実施した。 【附属養護学校】 ・発達障害児の事例研究を進めている。 ・11月22日に兵庫県知的障害養護学校教育研究協議会小学部会を開催した。</p>	<p>【附属住吉校】 ・学部附属共同研究教育研究発表会要項 ・学部附属共同研究研究紀要 ・研究部基礎編 ・教育研究協議会開催報告 ・神戸大学発達科学部における人を直接の対象とする研究審査申請書 【附属明石校園】 ・平成14年年度研究開発実施資料 ・研究紀要34(中学校) ・研究紀要40(小学校) ・研究紀要34(幼稚園) ・研究紀要2(カリキュラム開発研究センター) 【附属養護学校】 ・兵庫県知的障害養護学校教育研究協議会小学部会実施報告</p>
<p>・学校教育及び学校運営の在り方に関わって、地域での先導的な役割を果たし、各教育委員会、NPO、NGO等と連携して積極的に地域社会と交流する。(H17-)</p>		<p>【附属住吉校】 ・学部附属共同研究として現職教員を対象とした教育研究協議会を小中学校が合同して6月に開催した。 ・小中学校が合同して教科を中心とした授業研究発表会を2月に開催した。 【附属明石校園】 ・中学校では「研究協議会」、小学校では「研究発表会」、幼稚園では「幼児教育を考える研究会」を開催し、各校種で「実践交流会」等の地域あるいは全国の教員を対象とする参加型の研究会を、学部・大学院の教員と連携・協力して行った。 ・小学校では、明石市教育委員会及び明石市立小学校との連携を図りつつ、「実践交流会」を行った。 ・臨床心理士(スクールカウンセラー)の配置により、児童、生徒等が抱える心の問題を解決し、不登校への対策を図った。 【附属養護学校】 ・「明石障害者地域生活ケアネットワーク」には継続的に参加し活動した。 ・「地域支援と高齢・障害の垣根を超えた社会保障を考える会」(NPO法人、神戸市)の設立に参画し、研修、相談活動などを行った。</p>	<p>【附属住吉校】 ・学部附属共同研究、教育研究発表会の案内ポスター ・国語科総合単元学習のご案内 ・算数・数学授業研究会ご案内 ・近畿地区国立大学附属学校連盟図工・美術部会ご案内 ・近畿地区国立大学附属学校給食部会ご案内(小) ・近畿地区国立大学附属教育実習部会(中) 【附属明石校園】 ・「学習実践交流会」案内状及び資料や記録 ・「幼稚園教育を考える研究会」案内状及び資料や記録 ・「研究協議会」案内状及び資料 【附属養護学校】 ・「明石障害者地域生活ケアネットワーク」事業紹介パンフ ・「地域支援と高齢・障害の垣根を超えた社会保障を考える会」(NPO法人、神戸市)事業計画</p>
<p>自己評価及び第三者評価システムを作るため、学校評価を中期目標・中期計画に沿ったものとなるよう見直しを行い、第三者評価は、学校評議員等で検討を行う。また、発達科学部年次報告書に各年度の自己点検のための活動報告を記載する。(H17-)</p>		<p>【附属住吉校】 ・学校評議員による本校の中期目標・中期計画に沿った評価と教員や保護者による学校行事や教育課程を改善するための評価を実施した。 【附属明石校園】 ・学校としての説明責任を果たし、より客観性の高い学校評価を行っていく観点から、中学校では例年同様、年度末に、教職員による自己評価、生徒及び保護者による評価を実施し、学校評議員会においても意見を求めた。 幼稚園や小学校においても学校評価システム構築のため、「評価対象・評価項目・実施方法及び時期」の検討を行った。第三者評価については、評価結果を基に第3回学校評議員会を平成19年2月に開催し、検討した。 【附属養護学校】 ・「自己評価点検項目」の検討と、収集した外部評価に関する公立学校での資料をもとに、外部評価(保護者向けアンケート)を実施した。</p>	<p>【附属住吉校】 ・附属住吉校における中期目標・計画に対する自己点検・評価項目 ・学校評議員会「学校評価について」 【附属明石校園】 ・学校評議員会に関する文書・学校評価(教職員・生徒・保護者対象) 【附属養護学校】 ・保護者向けアンケート集計結果</p>
<p>・附属住吉校及び明石校園では、小学校の改修を計画している。(H18-)</p>		<p>平成18年度補正予算で改修計画中</p>	<p>【附属明石校園】 ・概算要求資料</p>
<p>・附属養護学校では、特別支援教育の要請に応じて障害乳幼児、障害者の成人教育の支援策について検討する。(H16-)</p>		<p>障害幼児親子教室については計画通り(月1回)実施し、一回平均20組の親子が参加した。本校卒業生の実態について、卒業後の経過などを把握し、同窓会名簿に記入し整理した。</p>	<p>・障害幼児親子教室実施一覧 ・同窓会名簿</p>

発達科学部平成18年度年次計画報告書

平成18年度年次計画	自己評価	自己評価判断理由(実施状況等)	根拠資料
<p>・多様な児童・生徒の入学を確保するため、選抜方法改善するとともに、募集説明会の回数増及び入学願書受付日の複数日化の継続、ホームページの充実など各校の教育方針の周知を図る。(H16-)</p>		<p>【附属住吉校】 ・18年度新1年生の募集より小学校においては抽選を廃止し、言語、環境、表現、健康などの多面的な観点を重視した入学選考に改めた。 ・中学校の複数受験(A日程・B日程)及び抽選の廃止について継続して検討した。 【附属明石校園】 ・幼稚園と小学校では、入学選考委員会において、適正な方法・時期・募集の仕方、及び周知の仕方等について、検討を重ねた。 ・幼・小・中とも、ホームページによる十分な説明と情報公開を行い、入学説明会には多数の保護者の参加を得た。 【附属養護学校】 ・ホームページでの募集要項の発表・開示を行った。学校見学会を6月12日、10月11日に実施した。入学説明会を10月3日に実施し、募集要項を発表した。</p>	<p>【附属住吉校】 ・平成19年度第1学年児童募集要項(小学校) ・同募集説明会資料 ・同ホームページ資料 ・平成19年度生徒募集要項(中学校) ・同募集説明会資料 ・同ホームページ資料 【附属明石校園】 ・「附属明石校園カリキュラム研究センター機関誌 - 子午線」 ・明石校園カリキュラム開発研究センター研究・研修申し込み綴り ・「幼稚園教育を考える研究会」案内状及び資料や記録 【附属養護学校】 ・19年度入学者募集要項</p>
<p>・市町教育委員会と連携して行っている「研究交流制度」を継続発展させるとともに、多様なプロジェクトを設定して現職教員の研修の充実を図る。(H17-H18)</p>		<p>【附属住吉校】 ・教育研究発表会(6月)や授業研究会(2月)を開催して、現職教員に研修の場を提供した。 ・研究協力者や授業協力者のシステムを取り入れ研修の充実を図った。 ・阪神間の各市町村からの講師依頼及び学校訪問の要請に応えている。 【附属明石校】 ・「研究交流制度」については、要請を受け実施している。また、それらを通して現職教員の研修プログラムの検討を重ねた。 ・現職教員の研修については、「研究協議会」「実践交流会」「夏季教員研修講座」「研究発表会」「幼児教育を考える研究会」等にて、公開研究会を積み重ね、地域への貢献を果たした。 【附属養護学校】 ・11月22日に発達科学部の協力を得て、兵庫県知的障害養護学校教育研究協議会小学部会を開催した。テーマは「コミュニケーションを育てる教育実践」「ことばの指導をめぐって」である。内容は、公開授業、研究協議である。 ・附属学校再編推進室を設置し、具体的に検討中。</p>	<p>【附属住吉校】 ・講師派遣依頼書 ・国語科総合単元学習のご案内 ・算数・数学授業研究会ご案内 ・近畿地区国立大学附属学校連盟函工・美術部会ご案内 ・近畿地区国立大学附属学校給食部会ご案内(小) ・近畿地区国立大学附属教育実習部会(中) 【附属明石校園】 ・「学習実践交流会」案内状及び資料や記録 ・「幼稚園教育を考える研究会」案内状及び資料や記録 ・「研究協議会」案内状及び資料 【附属養護学校】 ・兵庫県知的障害養護学校教育研究協議会小学部会報告・公開研究会案内状</p>
<p>・高校の新設を含む附属学校の在り方についての検討委員会での検討を行う。(H16-)</p>		<p>【附属住吉校】 ・警察署、消防署などの関係機関と連携しながら、不審者侵入による加害行為や火災、地震などの災害時に備えた避難訓練を実施し、問題点を確認しながら緊急時対応マニュアルの点検を行っている。 ・本年度は初めて小中学校が合同して避難訓練を実施した。 【附属明石校園】 ・関係機関によるマニュアルの点検指導と評価を行いながら、避難訓練等を実施し、安全に関する児童生徒への諸指導や保護者への啓発・周知を行い、安全確保に努めた。 ・保護者個人へのメール一斉配信を進め、全保護者に対して、緊急時の迅速な情報提供を行う体制を整えた。 ・安全衛生委員会の指導を受け施設設備の改善を図り、安全な学校づくりに取り組んだ。 【附属養護学校】 ・「不審者緊急対応マニュアル」にそって、地元警察、生活安全課と協力して、11月に不審者対応防災訓練を実施した。 ・毎月の安全点検を実施し、安全面での施設・設備の改善内容について検討を進めた。</p>	<p>【附属住吉校】 ・緊急時対応マニュアル 【附属明石校園】 ・不審者、防災に関するマニュアル ・安全衛生委員会議事録 【附属養護学校】 ・「不審者緊急対応マニュアル」・防災防犯訓練実施要項 ・安全点検表</p>
<p>業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置</p>			
<p>1 運営体制の改善に関する目標を達成するための措置</p>			
<p>・中期計画推進委員会の発足(H16-H18)(発達科学部)</p>		<p>中期計画推進委員会を主要委員長をメンバーとして発足させ、月1回開催した。</p>	<p>・中期計画推進委員会議事録</p>
<p>・学部長、評議員、学科長を中心とした新たな執行部体制のスタート(H16-)(発達科学部)</p>		<p>週1回の学部長、評議員、事務長、事務長補佐による打ち合わせ会、月1回の学科長会議、人事委員会、中期計画推進委員会を開催した。</p>	<p>・議事録</p>
<p>・経営・財務分析を行うとともに、大学予算の配分の重点化を進め、教育研究活動の活性化を図る(H16-H18)(発達科学部)</p>		<p>毎年度予算編成時において、学部長、評議員、事務長、事務長補佐、会計係長による見直しを行っている。また、授業支援経費を新設し学科を単位として授業の遂行に必要な経費を学科からの申請に基づき学部長が検討の上で配分することとした。</p>	<p>・教授会資料</p>
<p>2 教職員の人事の適正化に関する目標を達成するための措置</p>			
<p>・学部、学科を単位とした新たな人事の方式のスタート(H16-H18)(発達科学部)</p>		<p>学科・専攻運営会議、人事委員会、教授会による人事方式を実施中。</p>	<p>・学科運営会議規則 ・人事委員会規則</p>
<p>3 事務等の効率化・合理化に関する目標を達成するための措置</p>			
<p>・業務処理の点検を行い、費用対効果の視点から、業務の外部委託等について、具体的方策を検討する。(H16-H18)(発達科学部)</p>		<p>予算の効率的活用を図るため、常勤職員、非常勤職員及び委託業務全体の見直しを随時行っている。また、平成16年度～平成18年度を業務の見直し期間、平成19年度～平成21年度の3年間を実施期間として取り組んでいる。</p>	
<p>財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置</p>			
<p>1 外部研究資金その他の自己収入の増加に関する目標を達成するための措置</p>			
<p>・科学研究費補助金、受託研究、奨学寄付金などの外部資金の増加方策の検討と実施(H16-H18)(発達科学部)</p>		<p>教授会等を通じて情報の徹底、記載方法の助言を行った。奨学寄付金の手続きマニュアルを作成し各教員に対し配付した。また、平成18年度より科学研究費補助金の不採択案件のうち、評点の高かったものに対して研究推進特別経費を支給した。</p>	<p>・教授会議事録</p>
<p>・競争的資金等に関する情報を提供するとともに、申請書の内容及び記載方法に対する助言等、積極的な応募支援を行う。(H16-H18)(発達科学部)</p>		<p>教授会等を通じて情報の徹底、記載方法の助言を行った。</p>	<p>・教授会議事録</p>

発達科学部平成18年度年次計画報告書

平成18年度年次計画	自己評価	自己評価判断理由(実施状況等)	根拠資料
・外部資金の獲得状況を常に点検・評価し、外部資金獲得の向上に努める。(H16-H18)(発達科学部)		教授会等を通じて情報の徹底、記載方法の助言を行った。奨学寄付金の手続きマニュアルを作成し各教員に対し配付した。また、寄付者に対して礼状を送付した。	・教授会議事録
・収入見合事業の実施を図る(H16-)(発達科学部)		心理教育相談室の相談活動ならびに学部公開講座を実施した。	・心理教育相談室活動報告書 ・写真
2 経費の抑制に関する目標を達成するための措置			
・毎年度の予算編成の基本方針会議において経費の抑制に関する方針を策定する。(H16-H18)(発達科学部)		管理的経費等の縮減に関する取組み指針により、教授会において理解と協力を求めた。	・教授会資料 ・教授会議事録
・印刷物のWeb化を検討し、印刷経費を削減する(H16-)(発達科学部)		シラバスのホームページ化を実施した。募集要項の一部をホームページ化し、印刷経費を削減した。	・ホームページ
自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標を達成するためにとるべき措置			
1 評価の基本的な目標を達成するための具体的措置			
・評価基準の確立と評価結果に基づく改善のシステムの検討を行う。(H17-)(発達科学部)		自己評価委員会で検討中。	・自己評価委員会議事録
・自己評価委員会のもとに、各種データを総合的に掌握する体制の整備を図る。(H16-H18)(発達科学部)		自己評価委員会で各種データを収集するための自己点検・評価項目を検討し、現在データの収集中である。	・自己点検・評価項目書
・自己評価委員会内に「教育評価部会」「研究評価部会」を立ち上げ、各種データのもとに、評価基準の確立に向けての検討を行う。(H16-H18)(発達科学部)		自己評価委員会内の「教育評価部会」と「研究評価部会」が各種データを収集し、各部会において評価基準の確立について検討中。	・自己点検・評価項目書 ・「2006年度発達科学部年次報告書資料編」
2 情報公開等の推進に関する目標を達成するための措置			
・教官の社会貢献活動の毎年度の報告書の内容を検討し、刊行していく。(H16-)(発達科学部)		発達科学部社会貢献レポートをホームページ上で公開するとともに、社会貢献レポートを刊行した。また、その内容を基に社会貢献室において、公開講座の内容・日程等について検討中。	・ホームページ
・自己評価委員会による基礎データの集積の上に立って、逐次データベース化を図る。(H16-H18)(発達科学部)		教員の研究業績、教育業績、社会的貢献などのデータを収集した。	・自己点検・評価項目書 ・「2006年度発達科学部年次報告書資料編」
・電子情報専門委員会、広報専門委員会による情報公開の拡充の具体的措置を検討し、実施する。(H16-H18)(発達科学部)		電子情報専門委員会で随時検討を重ね、ホームページについては学部案内、学術情報、入試情報、イベント情報などに関する情報をわかりやすい形で公開したことや、今後の情報の膨大化に対応するためwebサイトにCMS(コンテンツ管理システム)を導入し、管理上の効率を上げるなどソフト面、ハード面で内容を充実させた。また、2005年度発「発達科学部年次報告書」をweb上に公開した。	・ホームページ
その他業務運営に関する重要目標を達成するためにとるべき措置			
1 施設設備の整備等に関する目標を達成するための措置			
・鶴甲2団地の施設長期計画の実現を目指す。(H18-)(発達科学部)		既に本部に要求している。	・概算要求
・学舎検討委員会による学舎の総合的有効利用の検討をすすめる。(H16-H18)(発達科学部)		人間科学研究センター廃止に伴いE棟の有効利用計画の営繕関係費の要求を行った。	・写真
2 安全管理に関する目標を達成するための措置			
・「発達科学部安全管理マニュアル」を継続的に発行し、学生実験における安全を管理する。(H16-H18)(発達科学部)		学部安全衛生委員会作成の「発達科学部安全管理マニュアル」を学生に配布して、周知徹底を図った。教授会でも周知徹底。	・「発達科学部安全管理マニュアル」
・学生実験における取り扱いマニュアル、指導マニュアルを充実し、それに基づく指導を行う(H16-H18)(発達科学部)		学部安全衛生委員会作成の「発達科学部安全管理マニュアル」を学生に配布して、周知徹底を図った。教授会でも周知徹底。	・「発達科学部安全管理マニュアル」
・有害物質及び放射線等の管理体制の強化を図る。(H16-)(発達科学部)		廃棄物処理費を計上して、計画的に有害物質を除去していくとともに、放射線等の管理についても適正な管理を徹底した。	・教授会資料
3 環境保全に関する目標を達成するための措置			
・環境管理委員会(旧廃棄物処理委員会)による検討の上に立って具体的施策を講じる。(H16-)(発達科学部)		平成19年度に実施する予定。	
その他の重要計画			
1 大学支援組織等との連携強化に関する計画			
・同窓会「紫陽会」との連携強化を図る。(H16-)(発達科学部)		同窓会評議員会、大阪、神戸、姫路支部総会への参加の他に、日常的に連絡を図っている。	